

おきの ひろし
沖野 宏施さん

(フォレスト株式会社 代表取締役)

1965年(昭和40年) ブラジル生まれ、浜松市在住
<業種・業務>製造業、社長
日本、ブラジル、世界へと事業を広げるために活躍中！
<語学力>日本語(日常会話、ひらがな・カタカナ・漢字)
ポルトガル語



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- ブラジル サンパウロ生まれの日系2世
高知県出身の両親から生まれ、子供の頃は、家庭内では8割ほど日本語の生活でした。小学校3年生までは日本語学校に通っていましたが、その後はポルトガル語での教育を受け、来日するまで日本語を勉強することはありませんでした。
- 働きながら通学、大学では経営学を専攻
中学、高校、大学は夜間の学校へ進学しました。日本では驚かれますが、ブラジルでは働きながら通学するのは当たり前です。高校へ進学する前から金融機関に勤め、学費は自分で稼いでいました。大学を卒業しないと仕事が限られてしまうため、どうしても大学へ行きたいと強く思い勉強に励みました。大学では経営学を専攻、この頃から、将来は自分の会社を持ちたいと考えていました。
- 24歳で日本へ 一時帰国した後に再来日
ブラジルのインフレがひどくなり、いわゆる「出稼ぎ」として来日し、母の兄弟がいた浜松の自動車工場に勤務しました。職場は、ポルトガル語で仕事ができる環境だったため、日本語は使用しないまま1年ほどで家庭の事情によりブラジルに帰国。その1年半後にブラジルで結婚した妻とともに再来日しました。
- 人材派遣会社の正社員から、会社経営者へ
再来日してから、初来日の時にお世話になった人材派遣会社に声をかけていただき、日系の人々を面接し、管理をサポートする正社員になりました。日本語の読み書きは仕事を通して独学で習得。働きながら培った人脈、出会いの積み重ねのおかげで、会社経営への道が開けていきました。



どんな出会いも無駄ではない。常に全力で取り込むと、チャンスもやってくる！

再来日後、人材派遣会社で正社員として働き、安定した暮らしができました。その後も、声をかけていただいた別の人材派遣会社で14年勤務しました。日系人のまとめ役として課長職に就き、一生懸命働いて、クライアントにも派遣社員にも全力で対応しました。どんな小さな出会いも今の自分につながる大事なネットワークになっています。

向上心が強く、安定よりもチャレンジしたいと考えていた自分に出会いから生まれたチャンスが巡り、平成19年人材派遣業として独立。フォレスト株式会社を起業しました。ブラジル人だから特別に苦労したとは思っていません。

日本は相手をリスペクトする意識が高いと思います。祖父や父から教わった、互いに力を合わせ、正直にという精神で、日本で培った人脈を活かしていきたいです。派遣先工場から木工加工の業務も引き継ぎ、事業を拡大。ブラジルで温水便座を普及させる新事業もスタート。社員の人生もかかっていますから、目標は、「強い」会社。我が社のこれからに期待してください。



フォレスト株式会社 専務取締役 上野直之さん

社長は経営、自分は現場のまとめ役、役割分担で会社を成長させます。

私もブラジル出身です。派遣社員として働いていた時に会った沖野社長とともに会社を立ち上げました。ものづくりに興味があるため現場を担当。カタチとなって受け継がれていくのが楽しいです。社長は威厳があり、リーダーシップがあります。厳しい面もありますが、社員を思いやる優しい方で、働きやすい環境をしっかりと作ってくれています。今後は、木材関係の事業も、日本でも海外でも充実させていきたいです。



ニャムジャウ ムンフバト さん

(有限会社ヤナザイ 班長)

1980年(昭和55年) モンゴル生まれ、島田市在住
〈業種・業務〉林業、森林技術員
妻と娘2人とログハウスに暮らしています！
〈語学力〉日本語(日常会話、ひらがな・カタカナ・漢字)
モンゴル語



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- モンゴルの自然に育まれ、両親と同じ林業に
林業を営む両親の元に生まれ、自然を身近に感じて育ちました。林業系の大学を卒業した両親の影響もあり、モンゴルの国立大学へ進学。森林工学を学び、卒業後は自然環境省森林・水資源調査センターで自然保護の仕事をしていました。
- 国際結婚を機に、浜松市で新たな人生をスタート
知人のホームパーティーで現在の妻と出会い、結婚を機に来日。来日当時は日本語が全く分かりませんでした。妻の実家がある浜松市で林業の仕事を探しましたが、言葉の壁にぶつかり、就職が難しかったため、まず、市内の自動車部品工場でアルバイトを始めました。そのときの仲間とは今でも付き合いがあります。
- 日常会話を1年でほぼ修得
日本語を習得するために浜松国際交流協会が開催する日本語教室に通いました。日本語は、モンゴル語と文法が似ていたため、覚えやすいと感じました。日本語の先生から、「テレビを見ることも大事」とのアドバイスを受け、スポーツ番組、お笑い番組からも吸収。日本語教室に通い始めてから、1年ほどで日常会話が話せるようになりました。
- 有限会社ヤナザイで勤続13年。期待の中堅リーダーに
ハローワークを通じて、正社員としてヤナザイに入社。会社の雰囲気に着かれて就職を決めました。日本の山や樹木の性質、重機など、林業に必要な知識や技術を一から学び、チェーンソー、クレーンなどの免許も取得しました。現在は、班長として仲間の安全を守りながら、仕事の生産性を高めています。



生きていることや仲間の素晴らしさを実感できる仕事です。

大井川流域に広がる豊かな森林が私の勤務場所です。この森林を管理し、木を育て、山を守りながら、優良材の伐採・搬出を行っています。山によって森林の年数も違えば、木の太さや重さ、板の張りなどさまざま。一本一本、木の種類や性質をしっかりと見極めて伐り倒しています。伐るということは、木の命を奪うことかもしれませんが、やがて、家の柱や床、家具、子どもたちの玩具などに生まれ変わる。木の未来を思いながら、取り組んでいます。

大自然を相手に、生きていることを実感できる仕事ですが、危険が常に隣合わせ。一緒に作業する藁科さん、森山さんの命にも関わるため、3人の信頼関係を大事にしています。家族のように絆が深くなるのは、この仕事ならではのと思っています。

入社した頃、外国人ということで、とても丁寧に教えてくれたことが印象に残っています。そんな僕も班長。みんなの期待に応えられるように頑張ります。

また、通訳のボランティアなどを通じて、静岡とモンゴルの架け橋になっていきたいです。

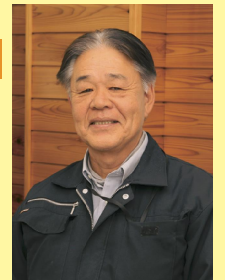


有限会社ヤナザイ 代表取締役社長 柳川真佐明さん

仕事をする上で、国籍は関係ないと思わせてくれました。

面接のときに林業への熱意を強く感じて採用しました。その判断は的中。林業に対する造詣も深く、山中に道を作る作業では初めての作業にも関わらず、イメージ通りに動いてくれました。目的のために、どう動いたらいいか先読みができ、優秀な人材だと、業界内でも評判です。

「バト」の愛称で親しまれるムードメーカー。若手を牽引し、どこまで林業を極めていくのか、期待しています。



はまだ たくみ
濱田 拓実さん

(富岳通運株式会社 富士宮支店 班長)

1965年(昭和40年) ブラジル生まれ、富士市在住
〈業種・業務〉運送業、倉庫作業
妻と2人の子供とともに、マイホームで暮らしています。
〈語学力〉日本語(日常会話、ひらがな・カタカナ)
ポルトガル語



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- ブラジル サンパウロ生まれの日系2世
農園を経営する両親の元に育ち、地元の小学校、中学校、高校を卒業。家業である農業を専門に学ぶために大学へ進学しました。また、プロのフットサル選手として、地元プロリーグでは4回優勝しています。
- 22歳、友人と来日
家庭の事情により、大学を中退して来日。先に来日していたブラジル人の知人の情報をもとに、派遣社員として、富士市の自動車部品工場で勤務を始めました。
来日時、日本語はほとんどわからない状態でしたが、職場でわからない言葉をとにかくメモして調べ、少しずつわかる単語を増やしていきました。完全に独学で学びました。
- 職を転々としながらスキルアップ
富士での4年9ヶ月の勤務を皮切りに、兵庫、山梨などの工場で派遣や請負の仕事に従事していました。
しかし、派遣や請負ではどうしても、最初に人員整理の対象となってしまうのが本意で、フォークリフトオペレーターの資格を取得しました。
- 富岳通運で勤続10年。管理職として活躍中。
一時、起業をして自営していた経験もありますが、現在は、安定した生活を求めて、富岳通運で正社員として働いています。派遣の時に習得したフォークリフトの技術が職場で活かされています。物流の現場で、安全に、また品質を保つために、部下30人の人事、労働時間の管理なども任されています。



経験がモノを言う。臨機応変に多くの荷をさばく、管理者としてのやりがい。

在庫28万ケース、入庫するトラック80台、出庫するトラック80台、という大手メーカーの巨大な物流センターが職場です。出荷する商品がパズルのようにうまくはまっていくと、達成感を感じます。自分でフォークリフトの運転もしていますが、全体を見て、人と物がちゃんと動いているのか、管理していくのも自分の仕事です。一番大切なのは安全であること、そして、製品を傷つけることなく物流品質を高め、正確・迅速に作業を行っていくことです。

派遣や請負で長期間働いてきましたが、やはり正社員として雇ってもらえれば生活も安定しますし、モチベーションもあがります。

取り掛かった仕事は終わるまでやらないと気が済みません。自分に与えられた仕事をしっかりと全うしたいです。万が一、失敗してしまったら、次に同じ失敗をしないようにすることが大事です。自分にも部下にも言えることです。

富士山の見える職場が気に入っています。毎日違う富士山の表情を楽しんでいます。



富岳通運株式会社 富士宮支店支店長 重森誠さん

優秀従業員賞も受賞。フォークリフトの腕前も我が社で1番です。

濱田君のフォークリフトの腕前はピカイチです。今度コンテストに出場しないと勧められています。真面目で几帳面、現場のことを一番知っており、本社から絶大な信頼を受けています。リフトの管理、人の管理、製品の管理、どれをとっても100%の信頼を置いています。

少々の無理難題にも努力してしっかり応えてくれ、当社にはなくてはならない貴重な人材です。



みやぎ
宮城 ユキミさん

(鈴与株式会社 / 鈴与カーゴネット株式会社 出向)

1994年(平成6年) ブラジル生まれ、静岡市在住
＜業種・業務＞運輸業、輸送の受注・手配を担当
趣味はドライブ。赤のオープンカーを購入予定。
＜語学力＞日本語(日本人と同等)、英語、ポルトガル語
大学では中国語、フランス語も学んでいました。



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- ブラジル サンパウロ生まれ
日本人の父(2歳で祖父母とブラジルに移住)と日系2世の母との間に生まれ、10歳までサンパウロで育ちました。
- 10歳で家族とともに来日 日本語をゼロから学ぶ
父の仕事の都合で10歳の時来日し、公立小学校へ編入しました。日本語が全くできなかったため、国語と社会は特に苦勞し、学校内の国際教室で日本語の基礎から学びました。でも、「外国出身だからできなくても仕方ない」と思われるのが本当に嫌で、自分でも必死に勉強し、小学校1年生用の「ドリル」から始め、ほぼ1年間で日常生活に不自由ないレベルまで上達しました。中学校は、言葉の不自由も全くなく、友達もたくさんでき、充実した毎日でした。
- 高校はインターナショナルクラスへ
高校進学に当たって、アイデンティティも大切にしたいと思い、ブラジル人学校への進学も考えましたが、中学校の先生から「せっかくここまで頑張ったのだから…」と公立高校への進学を後押しされ、市立高校のインターナショナルクラスを紹介されました。難関でしたが、がむしゃらに勉強し、合格することができました。高校は、国際色豊かなクラスメイト達にとっても刺激を受けました。文化祭ではミュージカルの演出を担当し、裏方の仕事、段取りの大切さを感じることができ、この経験が現在の仕事にも活かしています。
- 静岡文化芸術大学で多文化共生を学ぶ
外国人でもここまでできることを見せたい、強みとして活かしたいという思いがあり、静岡文化芸術大学に進学し、多文化共生を学びました。進学に当たっては両親の理解、支援も大きかったと思います。学業以外では、外国籍の子ども達の学習支援や、ブラジル人に大学を身近に感じてもらえるよう「学内フェスタジュリーナ」(ブラジルのお祭り)を開催するなどの活動を立ち上げました。



大好きな静岡で、「ブラジルとの架け橋」に。

大学で様々な人に出会い、経験することで、自分の世界が大きく広がりました。卒業後は自分を成長させてくれた静岡でブラジルに関わる仕事がしたいと思い、海外拠点が多く、グローバルな仕事ができる鈴与株式会社に入社しました。当社は物流を主な業務としており、総合職は入社後10年間程度、関連会社に出向するなどして、物流に関する様々な業務の経験をします。

私の場合は、まず、鈴与通関株式会社で、貿易における通関業務に携わりました。語学力など、今まで学んだことを活かしつつ、新たなチャレンジができました。

現在は鈴与カーゴネット株式会社で国内物流の輸送調整を担当しています。幅広い知識や経験、瞬時の判断力が必要で、まだまだ一人前とは言えませんが、日本の物流を支えていると実感でき、働きがいがある仕事です。

将来は、社内外から信頼され、「ブラジルのことなら宮城に聞け」と言われるようになりたいです。ブラジル駐在などの経験を積み、日本とブラジル双方の発展に寄与できる、架け橋のような人材になれるよう頑張ります。



鈴与カーゴネット株式会社 静岡支店 支店長 米澤貴博さん

グローバルに活躍し、会社の将来を担う人材に。

当社の業務は荷主の注文に応じ、トラックやフェリーなどの輸送機器の手配から運転手との連絡調整までを担う、物と人を動かす仕事です。高い調整力や判断力が求められますが、宮城さんは短期間で適応しています。

鈴与株式会社に総合職として入社した宮城さんは、会社の将来を担う人材として期待されています。今は、学ぶべきことを学ぶ下積み期ですので、将来、より大きく羽ばたくために、力を蓄えて欲しいと思っています。静岡だけでなく、日本の産業を担うグローバルな人材となることを期待しています。



せりだ
芹田 ラウルさん

(平野ビニール工業株式会社 生産管理課 係長)

1970年(昭和45年)ペルー生まれ、浜松市在住
＜業種・業務＞製造業、物流拠点の責任者
大切にしているのは家族との時間。趣味はサッカー観戦。
＜語学力＞スペイン語(簡単な)ポルトガル語
日本語(日常会話、簡単な漢字の読み書き)



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- ペルー リマ生まれの日系3世
日系2世の両親のもとに、ペルーの首都、リマで生まれました。
日系人の多い地区でしたので、学校で日本語の授業もありました。
が、家庭での会話を含め、すべてスペイン語でした。
- リマ大学で経営学を学ぶ
両親や親族に経営者が多かった影響もあってか、経営マネジメントを学ぶため、リマ大学に進学しました。勉強は得意だったので、ペルーの大学は5年制ですが、4年半で卒業することができました。
卒業後は親族の経営する会社に就職し、総務・人事管理を担当しました。
- 会社経営の夢を実現するも不運が重なり、日本へ
7年間働き、貯めていた資金を基に、夢だった自分の会社を設立。アパレル会社で、当初は注文も多く順調でしたが、7年間経営する中で、強盗に2度遭うなどの不運もあり、会社を閉めざるを得なくなりました。
借金もあり、どうしようかと思っている時に、「日本で働くと稼げる」という話を聞き、借金をできるだけ早く返済し、もう一度起業する資金を貯めるために、日本へ行くことを決意しました。
- 36歳で日本に。まず学んだのはポルトガル語。
妻とともに来日し、浜松市の自動車部品工場で派遣社員として働き始めました。私はペルー人なので、母語はスペイン語なのですが、職場はブラジル人ばかりで、まずはポルトガル語を覚える必要がありました。
生活のためにも、日本語をマスターしたいと思い、当時の私には高額でしたが、授業料を払って語学学校に通いました。
その後は、大手家電メーカーの工場で物流担当リーダー職を任されるほど頑張っていたのですが、リーマンショック時に派遣社員だったため解雇されてしまいました。
ペルーへの帰国も考えましたが、念願だった子どもを日本に来てから授かった縁を感じ、日本に住み続けることにしました。



今までのどんな経験も仕事に活かせる。縁が結んでくれた日本との絆

リーマンショック後は、失業手当を受けながら仕事を探し、スーパーに商品を納める青果問屋に正社員で採用されました。当初は業界独特の日本語などに戸惑いましたが、一つひとつ丁寧に解決していくことで社長からも信頼していただき、商品管理から配送まで任せていただきました。8年間勤めましたが、早朝や土日の出勤もあり、もう少し家族との時間を大切にしたいと思い、社長に相談したところ、現在勤める平野ビニール株式会社を紹介していただきました。

現在は自動車のシートなどの縫製品の入庫管理や顧客管理を担当し、係長として工場の責任者を任されています。外国人も多い職場ですので、誰でも同じように作業でき、ミスが起きないようにルールづくりを進めています。今までの会社経営や派遣社員だった時の経験が役立っています。

国籍に関係なく、働きぶりで評価されて昇進でき、何より社長から信頼されているのがうれしく、働きがいがあります。今後は子どもの成長を見守りながら日本でマイホームを持つ夢をかねえたいと思います。



平野ビニール工業株式会社 代表取締役 平野利直さん

経営者目線で仕事ができる人材。将来は会社の中核に。

ラウルさんは、経営者目線で仕事を見ることができ、理論的に物事を進められる優秀な人材です。コスト意識も高く、入社後すぐに当社の物流の無駄を見抜き、改善策を提案してくれました。おかげで作業ミス、生産ロスが減り、生産性が向上しています。

既に当社になくてはならない人材ですし、将来は、会社の中核を担う人材として活躍してくれることを期待しています。



ウルダネタ トリスタン ジョシュアさん

(株式会社セイエイ)

1997年(平成9年) フィリピン生まれ、浜松市在住
〈業種・業務〉一般注文住宅の建設業、ホームアドバイザー
今の目標は2級建築士資格を取得することです。

〈語学力〉日本語(日常会話、ひらがな、カタカナ、漢字)
フィリピン語、英語



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- 母と暮らすため、12歳で来日
フィリピンのラスピニアス市で生まれ、小学校を卒業するまで過ごしました。進学を控えていたころ、日本に住んでいた母と一緒に暮らすことになり来日しました。日本に来て驚いたことは子どもたちだけで外を出歩いたり、バスに乗ったりしていたことです。なんて平和な国なんだととても感動しました。
- 日本語はコミュニケーションと日本語教室で上達
来日して間もなく、浜松市内の公立中学校に入学しました。日本語は来日直前に少し勉強しただけで、ほとんどわからない状態だったので、日常会話や授業についていけず、苦労しました。そんな僕に話しかけ、輪の中に入れてくれたクラスメートや週末に通い続けた日本語教室のおかげで、少しずつ会話ができるようになり、友達もできました。
- 将来のために高校進学
中学校卒業後は働こうと思っていましたが、高校や専門学校・大学を卒業した方が選べる仕事の幅が広がることを知り、高校進学を決意しました。外国籍の生徒向けの試験がある県立高校に進学し、興味があったバスケットボール部にも入部しました。顧問の先生から、「部活動はたったの3年間。限られた時間で一生懸命やるのが大事。」と言われ、初心者ながらもベストを尽くしました。その教えを、今も普通の生活や仕事に活かしています。
- 建築士を目指し、着実に歩む
フィリピンでは台風で壊れてしまう家が多いため、日本の優れた建築技術を身に付けて、フィリピンで台風にも強い家を作りたいと思い、高校卒業後は市内の専門学校で建築・設計を学びました。卒業後は設計事務所に入社し、今年3月から株式会社セイエイへ転職し、主にフィリピン人のホームアドバイザーを担当しています。



僕の特性が100%発揮できる仕事です！

「将来のために、フィリピン人の家づくりに携わってみたいか」。セイエイの社長から声をかけられた時は、夢に一歩近づけると思い、とてもワクワクしました。実際に働いてみると、お客様の相談対応からプランニング、3Dパース(完成予想図)や書類の作成まで、仕事の範囲が広くて大変ですが、やりがいを感じています。

フィリピン人が好む家は一般的な日本の家とは少し違うので、お客様の要望を丁寧に聞いて、その方に合った家づくりを提案しています。喜んでいただけたときは特にやりがいを感じます。

入社して間もないころ、お客様の新築記念パーティーに呼んでいただきました。フィリピンでは恒例行事なので、他のお客様にも見てもらいたいと思い、許可を得て動画を会社のSNSにアップしたところ、とても好評で、それ以来、会社のSNSでの広報を任せてもらえるようになりました。フィリピンの文化や風習を知っている自分だからこぞできたことであり、自信につながっています。

フィリピンで災害に強い住宅を作るという夢をかなえるために、建築士の資格を取り、受注から設計、引き渡しまで任せてもらえるようになるのが今の目標です！



株式会社セイエイ 代表取締役 鈴木利則さん

フィリピン人の需要が増え、ジョシュア君の活躍に期待しています。

お客様とタガログ語でコミュニケーションを取り、相手の要望や気持ちを汲み取ることができる優秀な人材です。人気者で、最近ではジョシュア君を指名するお客様が増えています。何ごとも吸収しようというやる気があるので成長も早く、ますます今後の活躍が楽しみです。これからもっと経験を積み、相談から家の引き渡しまで任せられるよう、知識や技術を身に付けてもらいたいです。彼の夢がかなうよう精一杯応援しています。



スロエタ ポルタルジョセフさん

(いすゞ自動車中部株式会社 浜松支店)

1998年(平成10年)浜松市生まれ、ペルー国籍
<業種・業務>自動車整備士 大型車のメンテナンス業務
休日は友達と遊んだり、12歳下の弟と出かけたりしています。
弟のこれからの成長が楽しみです。
<語学力>日本語(日本人と同等) スペイン語(日常会話)



私の足跡・轍(これまでのキャリア)

- ペルー出身の両親のもと浜松市で生まれる
両親は日本が好景気だったバブル期に来日しました。自分はその後生まれたので日本生まれですが、両親は日本語を話せないのので、家ではスペイン語を話していました。父は自動車工場働いていて、収入もよく一軒家に住んでいたことを覚えています。
- 外国出身者のコミュニティで育つ
父の仕事は景気の影響を受けやすく不安定だったため、2~3歳の頃に一軒家を売って団地へ引っ越しました。団地では外国籍の友達が多かったので、スペイン語やポルトガル語での会話ばかりで、日本語と接するのは保育園に入園してからでした。
- 成長するにつれ日本語中心の生活に
公立小学校に入学し、ボランティアの方から日本語の補習を受け、それまで真似して話していただけの日本語が、系統立てて理解できるようになりました。学校の日本人の友達と遊ぶことが多くなったこともあり、スペイン語はあまり使わなくなりました。今では家族との簡単な会話くらいです。
- 勉強一筋だった高校時代
中学校では勉強を真面目にやらず、成績は下位の方でした。それでも、周りの友達と同じように、高校には進学するものだと思っていたので、試験勉強は頑張り、無事市内の公立高校に進学できました。試験勉強を頑張れたこと、試験に合格したことは自分の自信になりました。
高校進学後は、今までの分も勉強しようと思い、勉強に打ち込みました。最初はなかなか成績が上がっていませんでしたが、「やっても無駄」と言った友人を見返すために必死に勉強してどんどん成績が上がって、勉強自体が楽しくなりました。



父の背中を見て志した自動車整備士。社会に役立つ仕事に就けた充実感を感じています。

高校卒業後に働くことも考えましたが、中学校の先生から「将来安定して働くために、手に職をつけた方がいい」と言われたことを思い出し、進学を決意。子どもの頃に見た、自動車工場働く父の姿が印象に残っていたので、自動車関連の仕事に就くことを目指し、専門的な知識や技術を得られる自動車関連の短大へ進学・卒業し、2級自動車整備士の資格を取得しました。

自動車を通じて社会に貢献できる仕事をしなかったので、物流を支えているトラックに関わるいすゞ自動車中部株式会社へ整備士として就職しました。今は浜松支店で車検担当チームに加わり、車検業務を行う先輩たちのサポートをしながら、現場での作業を学んでいます。短い期間で何台ものトラックの車検をこなさなければならず、チームとしての対応が求められますので、早く車検の基本をマスターし、一人前の戦力となるよう日々勉強しています。

先輩たちはエンジン音を聞いたり、走りを見たりするだけで、不具合箇所をすぐに見抜きます。その技術の高さに驚かされ、そんな整備士になりたいと憧れています。家では自主的に英語を勉強中。いすゞは海外にも支店があるので、いずれはグローバルに活躍できる人間になりたいという夢もあります。



いすゞ自動車中部株式会社 浜松支店 エンジニア 加納利恭さん

一生勉強。まずは目の前のことからコツコツと経験を積んで。

車検や点検の業務は、チームで協力して行う仕事ですので、コミュニケーションが大切になってきますが、ジョセフ君の人懐っこい性格はこの仕事に活かされています。技術的な面では、トラックは一台ごとに整備すべき部分や部品が違うため、場数を踏むことでしか得られないスキルが多く、一人前と呼ばれるまで時間がかかります。ジョセフ君も焦らずコツコツと経験を積み、いずれは一人前の整備士として活躍してほしいです。



外国人雇用サービスコーナー (ハローワーク)

日系人等、日本語が理解できない外国人求職者の方々でも、安心して職業相談が受けられる窓口「外国人雇用サービスコーナー」を静岡県内のハローワークに開設しています。

支援内容

- ・ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語ができる通訳相談員を配置し、きめ細やかな就業相談、職業紹介をしています。

相談窓口

名称	所在地	対応言語	電話番号
ハローワーク 静岡	静岡市駿河区西島235-1	ポルトガル語・スペイン語 中国語	054-238-8603
ハローワーク 浜松	浜松市中区浅田町50-2	ポルトガル語・スペイン語	053-457-5157
ハローワーク 細江	浜松市北区細江町広岡312-3	ポルトガル語	053-522-0165
ハローワーク 浜北	浜松市浜北区沼269-1	ポルトガル語	053-584-2233
ハローワーク 沼津	沼津市市場町9-1 (沼津合同庁舎1階)	英語・フィリピン語 ポルトガル語・スペイン語	055-918-3711
ハローワーク 御殿場	御殿場市かまど字水道1111	ポルトガル語・スペイン語	0550-82-0540
ハローワーク 清水	静岡市清水区松原町2-15 (清水合同庁舎1階)	ポルトガル語 スペイン語	054-351-8609
ハローワーク 三島	三島市文教町1-3-112 (三島労働総合庁舎1階)	ポルトガル語 スペイン語	055-980-1302
ハローワーク 掛川	掛川市金城71	英語・ポルトガル語 スペイン語	0537-22-4185
ハローワーク 島田	島田市本通1-4677-4 (島田労働総合庁舎1階)	ポルトガル語 スペイン語	0547-36-8609
ハローワーク 榛原	牧之原市細江4138-1	ポルトガル語・スペイン語	0548-22-0148
ハローワーク 磐田	磐田市見付3599-6 (磐田地方合同庁舎1階)	ポルトガル語 英語	0538-32-6181
ハローワーク 富士	富士市南町1-4	ポルトガル語・スペイン語	0545-51-2151
ハローワーク 焼津	焼津市駅北1-6-22	ポルトガル語・スペイン語	054-628-5155

しずおかジョブステーション

主にキャリアカウンセリングを行っている、静岡県が設置する相談窓口です。就職サポーターが担当者制で就職活動の相談を無料で受け付けており、相談から就職まで、一貫した支援を実施しています。

支援内容

- ・就職活動の相談をしています。
- ・外国人の方向けの支援セミナーを開催しています。

相談窓口

地域	所在地	電話番号
東 部	沼津市大手町1-1-3 沼津商連会館ビル2階	055-951-8229
中 部	静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル3階	054-284-0027
西 部	浜松市中区中央1丁目12-1 県浜松総合庁舎	053-454-2523

職業訓練施設

若い技能者の育成を目的とした、主に高校卒業者を対象とする訓練（1～2年）のほか、仕事を求める方に対する離転職者訓練や企業で働く方の能力向上を目的とした在職者訓練を行います。

支援内容

県立技術専門学校（沼津・清水・浜松）では、民間教育機関等に委託して、パソコンビジネス・介護・観光サービスなど3～4か月の定住外国人の方向けの訓練（通訳付き）を実施しています。定住外国人職業訓練コーディネーターが訓練受講中の相談対応や、就職先の開拓などの支援を行います。

また、技術専門学校（沼津・浜松）の施設内で実施する溶接や住宅リフォームなどの求職者向けの訓練では、平成31年度から通訳が定住外国人の方の受講を支援します。

相談窓口

施設名	所在地	電話番号
沼津技術専門学校	沼津市大岡4044-24	055-925-1071
清水技術専門学校	静岡市清水区楠160	054-345-3098
浜松技術専門学校	浜松市東区小池町2444-1	053-462-5602

静岡県多文化共生総合相談センター（かめりあ）

在留資格や仕事、子育てや医療など、外国人住民が生活する上での困りごとに対し、多言語による相談を実施しています。

支援内容

- ・9言語による生活相談（ポルトガル語、フィリピン語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、日本語）
- ・その他言語もテレビ電話通訳、翻訳機等で11言語以上に対応

相談窓口

施設名	所在地	電話番号
静岡県多文化共生総合相談センター(かめりあ)	静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階	054-204-2000

国際交流協会

外国人住民が直面する労働、医療、福祉、教育等にかかる相談機能や日本語支援の強化に取り組み、相互理解を基盤とした多様性に富んだ多文化共生社会の発展のために事業を展開しています。

支援内容

- ①国際理解・交流推進事業
 - ・外国人住民の生活に役立つ情報の提供、外国語ボランティアバンク、外国人留学生と日本人学生等との交流推進 等
- ②多文化共生推進事業
 - ・外国語対応の相談窓口の設置
 - ・ボランティアによる日本語指導（外国人技能実習生向け） 等

相談窓口

施設名	所在地	電話番号
(公財)静岡県国際交流協会	静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階	054-202-3411
静岡市国際交流協会本部	静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所17階	054-273-5931
静岡市国際交流協会清水支部	静岡市清水区旭町6-8 清水区役所2階	054-354-2009
(公財)浜松国際交流協会	浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階	053-458-2170
沼津国際交流協会	沼津市御幸町16-1 (市役所地域自治課)	055-934-4717
熱海国際交流協会	熱海市中央町1-1 (市役所生涯学習課)	0557-86-6233
富士宮市国際交流協会	富士宮市中央町5-7	0544-22-8111

施設名	所在地	電話番号
伊東国際交流協会	伊東市松川町3-4 太田ビル2階	0557-32-4666
富士市国際交流協会	富士市永田町1-100	0545-55-2704
(一社)磐田国際交流協会	磐田市森岡150 (磐田市豊田支所)	0538-37-4988
熱海国際交流協会	熱海市中央町1-1 (市役所生涯学習課)	0557-86-6233
富士宮市国際交流協会	富士宮市中央町5-7	0544-22-8111
伊東国際交流協会	伊東市松川町3-4 太田ビル2階	0557-32-4666
富士市国際交流協会	富士市永田町1-100	0545-55-2704
(一社)磐田国際交流協会	磐田市森岡150 (磐田市豊田支所)	0538-37-4988
焼津市国際友好協会	焼津市本町2-16-32 (市役所市民協働課)	054-626-2191
NPO法人掛川国際交流センター	掛川市長谷1-1-1 (市役所2階テラス)	0537-24-5595
藤枝市国際友好協会	藤枝市駅前2-1-5 文化センター2階	054-270-3232
御殿場市国際交流協会	御殿場市萩原483 (市役所市民協働課)	0550-82-4426
袋井国際交流協会	袋井市新屋1丁目1-15	0538-43-8070
(公財)下田市振興公社	下田市4丁目1-2	0558-23-5151
裾野市海外友好協会	裾野市佐野921-3 大橋ビル2階	055-993-9695
湖西国際交流協会	湖西市鷺津1293-4	053-575-2008
御前崎市国際交流協会	御前崎市池新田5585 (市役所企画政策課)	0537-85-1161
菊川市国際交流協会	菊川市堀之内61	0537-35-0925
伊豆の国市友好都市交流協会	伊豆の国市長岡340-1 市役所2階	055-948-1415
伊豆の国市国際交流協会	伊豆の国市四日町772	055-949-8600
牧之原市国際交流協会	牧之原市静波447-1 (市役所情報交流課)	0548-23-0040
清水町国際交流協会	清水町堂庭210-1	055-981-8238
長泉町国際交流協会	長泉町中土持828	055-989-5500
小山町国際友好協会	小山町藤曲57-2 (役場内)	0550-76-6135
吉田町国際交流協会	吉田町住吉87	0548-33-2135
森町国際交流協会	周智郡森町森177-5 松浦方	0538-85-2111

県内外国人労働者に関するデータ

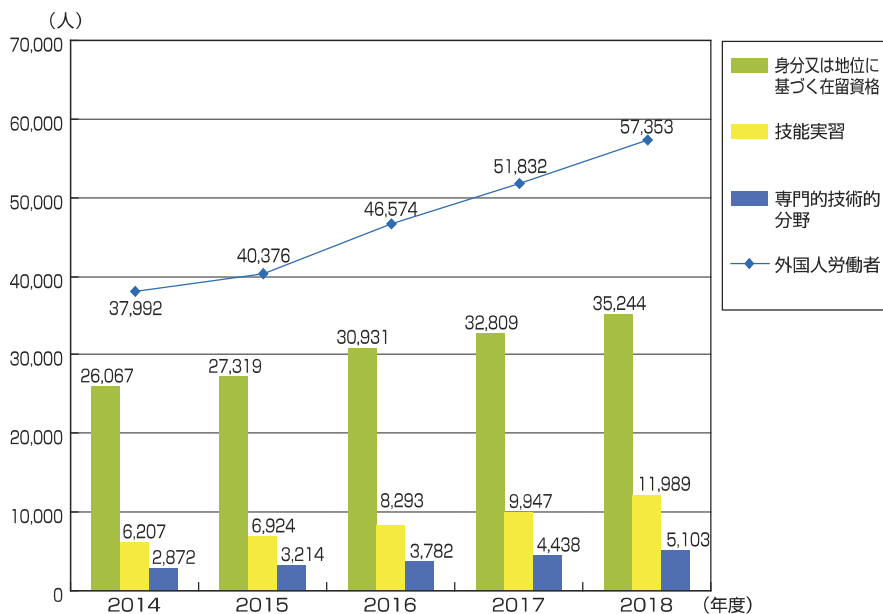
本県には、6,869事業所において、57,353人の外国人労働者が働いており、経済の回復や人手不足などの影響を受け、外国人雇用事業所数・労働者数ともに過去最高を更新しています。

また、在留資格別では、就労に制限がない、「身分又は地位に基づく在留資格者」が35,244人で最も多く、労働者全体の61.5%を占めています。

出典 静岡県労働局：外国人雇用状況（平成30年10月末現在）

外国人雇用事業所数	事業所数	全国割合	順位	全国計
	6,869所	3.2%	全国8位	216,348所
外国人労働者数	労働者数	全国割合	順位	全国計
	57,353人	3.9%	全国6位	1,460,463人
<在留資格別> 身分又は地位に 基づく在留資格者	労働者数	県内労働者に占める割合	順位	全国計
	35,244人	61.5%	全国4位	495,668人

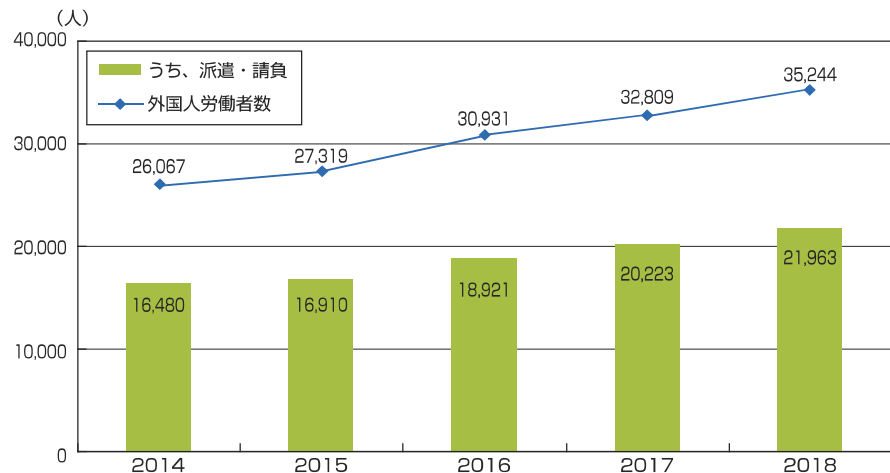
静岡県の在留資格別外国人労働者の推移



身分又は地位に基づく在留資格を持つ労働者数の推移

身分又は地位に基づく在留資格を持つ本県の外国人労働者（35,244人）のうち、製造業を中心に21,963人が派遣・請負で就労しています。

派遣請負比率は62.3%であり、景気に左右されない安定的な就労先の確保が課題となっています。



国籍別外国人労働者数の推移

国籍別では、本県はブラジル国籍者（18,524人）が最も多く、次いで、フィリピン国籍者（11,401人）となっています。

